

令和 6 年度

# 学校推薦型選抜 学生募集要項



インターネット出願について

本学では、インターネット出願を導入しています。  
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学 Web サイト  
から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 6 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

# 目 次

アドミッション・ポリシー .....	1
令和6年度 学校推薦型選抜日程一覧 .....	2
1. 趣旨 .....	3
2. 募集人員 .....	3
3. 出願要件 .....	4
4. 推薦人員 .....	4
5. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像 .....	5
6. 出願期間 .....	8
7. 出願書類等 .....	8
8. 出願手続 .....	9
9. 受験票及び受験案内のダウンロード, 印刷 .....	12
10. 入学者選抜方法 .....	12
11. 障害のある入学志願者との事前相談 .....	19
12. 免許教科の決定について .....	19
13. 合格者発表 .....	20
14. 入学手続 .....	20
15. 学生寮への入寮について .....	21
16. 入学辞退手続 .....	22
17. 不合格者の再出願 .....	22
18. 入学試験個人成績の開示 .....	22
19. 安全保障輸出管理について .....	22
◆愛知教育大学へのアクセス (案内図) .....	23

## アドミッション・ポリシー

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- ◎創造力や探究心を持つ人
- ◎多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- ◎学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

### (入学者選抜の基本方針)

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの成績（300点満点）、AP試験（100点満点）、出願書類（本人記載資料の「学びの履歴」及び出身学校の調査書で100点満点）により評価します。なお、出身学校の推薦書と調査書、本人記載資料の「志望理由書」と「学びの履歴」は、AP試験における資料として用います。

#### ◎知識・技能

学校教員または教育支援専門職として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力（教育支援専門職では実践力）の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、大学入学共通テスト、AP試験及び「学びの履歴」、調査書で評価します。

#### ◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、AP試験、調査書で評価します。大学入学共通テストでも思考力を評価します。

#### ◎意欲・関心・態度

学校教員または教育支援専門職として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心をAP試験、「学びの履歴」で評価します。その際、調査書と「志望理由書」を資料として用います。

#### ◎主体性・協働性

主体性と協働性をAP試験、「学びの履歴」、調査書で評価します。その際、推薦書を資料として用います。

### 本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的な内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的なものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

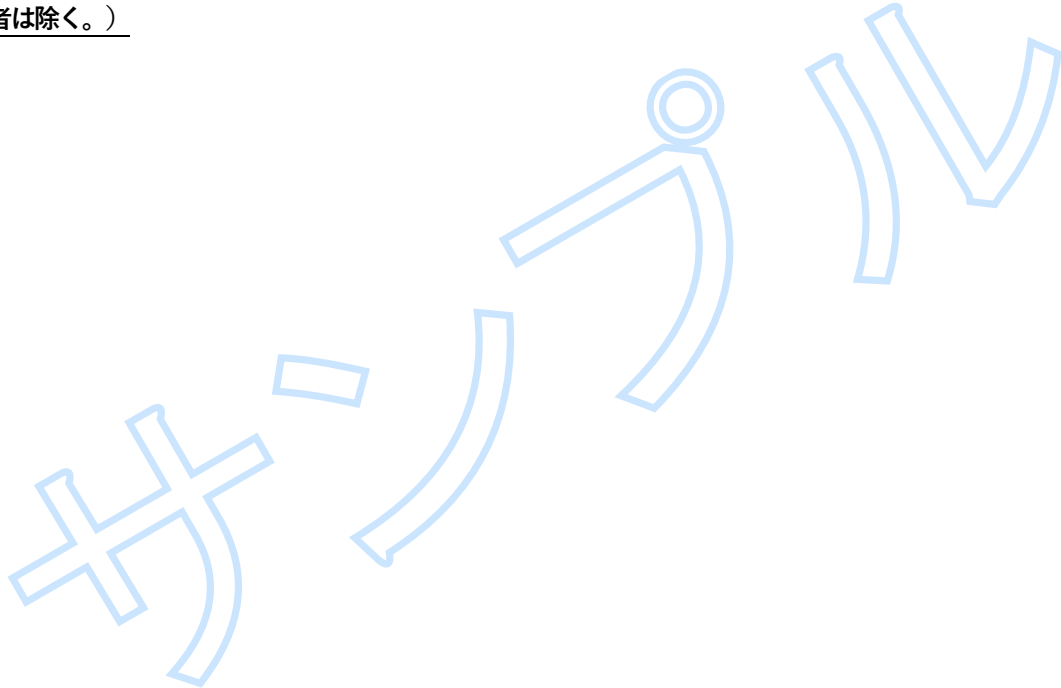
なお、将来、学校教育に教員または教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

## 令和6年度 学校推薦型選抜日程一覧

入試の種類		出願期間	試験期日	合格発表	入学手続
特別 選抜	学校推薦 型選抜	令和5年11月2日(木) ～11月8日(水)	令和5年12月2日(土)	令和6年2月9日(金)	令和6年2月15日(木) ～2月16日(金)

### 注意

1. 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。
2. 本学においては、総合型選抜と学校推薦型選抜の両方に出願することが可能です。(ただし、総合型選抜の合格者は除く。)



## 1. 趣旨

出身高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ）学校長の推薦を中心として、多様な選抜方法により、多様な適性・能力を持ち、本学各専攻・専修・コースに明確な志望の意思のある学生を選抜し、本学の教育研究の一層の活性化を図るため、学校推薦型選抜を実施します。

## 2. 募集人員

本年度、学校推薦型選抜を実施する専攻・専修・コース及びその募集人員は次のとおりです。なお、志願者数が募集人員を下回った場合及び選考の結果、合格者数が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の募集人員にその欠員分を含めます。

課程・専攻・専修・コース		募集人数		
学校教員養成課程	幼児教育専攻		8名	
	義務教育専攻	学校教育科学専修	8名	
		生活・総合専修	4名	
		ICT活用支援専修	5名	
		日本語支援専修	6名	
		教科指導系	国語専修	18名
			社会専修	21名
			算数・数学専修	25名
			理科専修	25名
			音楽専修	3名
			図画工作・美術専修	8名
			保健体育専修	9名
			ものづくり・技術専修	3名
		高等学校教育専攻	家庭専修	8名
	英語専修		4名	
	教科学習開発系		国語・書道専修	2名
			地歴・公民専修	2名
			数学専修	2名
		理科専修	7名	
英語専修	5名			
特別支援教育専攻		6名		
養護教育専攻		11名		
養成課程 専攻 教育 支援 職	心理コース	15名		
	福祉コース	6名		
	教育ガバナンスコース	15名		

### 3. 出願要件

令和6年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者で、次の条件を全て満たす者とします。

- (1) 調査書の学習成績概評がB（全体の評定平均値が3.5）以上であって、学校長が次頁の「各課程・専攻・専修・コースが望む学生像」に合致しており、かつ学校教員養成課程においては教職への強い意欲のあるとして、責任をもって推薦できる者
- (2) 高等学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 保健体育専修を志願する者は、高等学校在籍中にスポーツ全般において校内外に所属する部・クラブ活動の一員として試合に出場し、かつ競技した者であること。  
※出願書類の“学びの履歴”（8ページ参照）に出場した大会の正式な名称を記入すること。
- (4) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

### 4. 推薦人員（各学校から推薦できる人数）

各高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）から推薦できる人数は、**募集する専攻・専修・コースごとに1校あたり各3名以内です。出願前には必ずこの人数以内であることを確認してください。**（各専攻・専修・コースごとに3名推薦していただいた場合、1校あたり最大75名まで推薦が可能です。）

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

## 5. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修・コースでは、次のような学生の入学を望みます。

学校 教員 養成 課程	幼児教育専攻		乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、子どもに共感し、環境を通じた遊びを中心とした保育を構想し、柔軟に展開できる資質・能力として、特に、子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	学校教育科学専修		実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。
	生活・総合専修		児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。
	ICT活用支援専修		ICT や ICT を活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICT を使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識やICT を積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校でICT の活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。
	日本語支援専修		日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけでなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的知識・技能を習得することが目的です。言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	教科 指導 系	国語専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
		社会専修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心を持ち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
		算数・数学専修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、高等学校「数学III」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方や表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようとする者を望みます。
		理科専修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようとする者を望みます。

学校 教員 養成 課程	義務 教育 専攻	教科 指導 系	音楽専修	児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心をもち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。
			図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的で、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
			保健体育専修	スポーツに親しみをもち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
			家庭専修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
			英語専修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	高等 学校 教育 専攻	教科 学習 開発 系	国語・書道専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			地歴・公民専修	地歴科や公民科を核とした関連諸分野に深い関心をもち、特に、資料や情報の読解力や分析力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を身につけることに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			数学専修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。



学 校 教 員 養 成 課 程	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	理 科 専 修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門のおよび実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
学 校 教 員 養 成 課 程	特 別 支 援 教 育 専 攻		視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など、さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性をもち、実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために、障害のある子どもの実態を客観的にとらえ、積極的に働きかける力があり、他の教員たちと協働しながら、特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め、みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	養 護 教 育 専 攻		学校の保健管理や保健教育、子どものからだところの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
教 育 支 援 専 門 職 養 成 課 程	心 理 コ ー ス		子どもの心や行動のプロセスを理解し、子どもの健全な発達を支援し、家庭・学校・地域と連携し、子どもの安全な生活を支援する、心理学の基礎知識に加え、心理臨床やカウンセリングの技能を身につけた、スクールカウンセラーをはじめとする心理の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・心理学に興味・関心をもち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	福 祉 コ ー ス		子どもやその家庭をとりまくさまざまな課題に対する相談援助・生活支援を担う高度な知識・技術を身につけた、スクールソーシャルワーカーをはじめとする福祉の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・福祉に興味・関心をもち、学校や地域と連携しながら子どもの健やかな未来を支援する教育支援者、福祉専門職として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	教 育 ガ バ ナ ン ス コ ー ス		学校をはじめとする教育事務の調整、戦略的企画の立案、管理事務に対応できる資質・能力を備え、学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力や多文化への理解力を身につけた、学校や教育機関で活躍できる教育事務職員を養成をめざしています。そのために、教育・法律・行政・情報・多文化理解に興味・関心をもち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	

## 6. 出願期間

令和5年11月2日（木）から11月8日（水）まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。11月8日（水）17時までに入試課に必着すること。出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。ただし、11月6日（月）以前の郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

## 7. 出願書類等

下記のア、イ、ウの書類を出願期間内に提出してください。（エは後日提出してください。）

### ア. インターネット出願システムから印刷し、提出するもの

提出書類等	記入者	摘要
1 出願確認票（提出用）	出願者	出願内容等に間違いがないか確認し、インターネット出願システム登録後にカラー印刷してください。 （注）出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。
2 宛名ラベル及び出願書類チェックリスト	出願者	出願封筒（角形2号）用に張り付ける宛名ラベル及び出願書類チェックリストをインターネット出願システムからカラー印刷し、封筒に張り付けてください。
3 選考結果通知書送付用封筒	出願者	送付用封筒（長形3号）に張り付けるラベルをインターネット出願システムからダウンロード、カラー印刷し、封筒のサイズに切り取り、のり付けてください。（切手の貼付は不要です。）

### イ. 所属する高等学校及び出願者が準備する書類

本学所定の様式（下記4, 6, 7についてWebサイトに掲載※）で印刷し、作成する書類。（調査書は除く）※URL：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/faculty.html>からダウンロードした本学所定の様式に**6**及び**7**は出願者本人が、**4**及び**5**は学校長が記入し、提出。

提出書類等	記入者	摘要
4 推薦書	学校長	（本学所定様式） 厳封してください。 推薦理由の記入にあつては、ワード等使用可。（ただし、その場合は出力部分を貼付して複写し、複写したものに記名押印のこと） 別添書類はつけないでください。
5 調査書	学校長	（文部科学省所定様式） 学校長職員、記載責任者の印を押し、厳封されたものを提出してください。
6 志望理由書	出願者	（本学所定様式） 本学へ入学を希望する理由について、600字程度で記述してください。 <b>（注）生成系AI（ChatGPT等）が生成した文章をそのまま又は一部修正して提出することは不正行為となります。志望理由については、皆さん自身の考えで作成してください。</b>
7 学びの履歴	出願者	（本学所定様式） これまでに経験した教育に関わる活動、志願する専攻、専修、コースにかかわる諸活動等、受賞歴、各種資格や検定等について記入してください。なお、資料はA4判のファイル一冊に綴じること（作成方法については、別掲載の「出願書類等はこちら。」の学びの履歴作成例をご確認ください。）。 <b>（注）保健体育専修を志願する者は、出場した大会の正式な名称を記入すること。</b>

## ウ. 該当者のみが提出する書類

本学所定の様式（Web サイトに掲載※）で印刷し，作成する書類。

※URL：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/faculty.html> からダウンロードした本学所定の様式に出願者本人が記入し，提出。

	該当者	書類	記入者	摘要
8	音楽専修を志願する者	音楽実技内容届	出願者	受験する選択内容を記入し，提出してください。

## エ. 後日提出する書類

	提出書類等	摘要
9	令和6共通テスト成績請求票 ([推薦]国公立推薦選抜用)	試験当日に配布する本学所定の様式へ必要事項を記入の上，令和6共通テスト成績請求票を張り付けて本学入試課まで送付してください。 12月19日（火）までに送付してください。

## 8. 出願手続

出願手続は，①インターネット出願登録→②検定料の支払い→③写真のアップロード→④出願書類の提出（簡易書留速達）により，完了します。

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です）。

令和5年10月26日（木）9時 から 11月7日（火）23時59分まで

出願情報の登録後に入学検定料17,000円（別途，支払手数料700円）を支払うことになるので，余裕をもった出願を心がけてください。

なお，**検定料の支払い後は，登録内容の変更はできません**ので，注意してください。

また，大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は，入学検定料が免除になることがありますので，入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学 Web サイト「入学検定料の免除について」（[https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/info/kentei\\_menjo.html](https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/info/kentei_menjo.html)）を確認の上，申請してください。

インターネット出願登録は，下記の URL から利用できます。

URL <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/internet.html>

- インターネット出願の操作に関するお問い合わせ  
志願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257
- 入学試験に関する問い合わせ  
愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

【出願期間】は以下のとおりです。

令和5年11月2日（木） から 11月8日（水）17時まで

### (1) 出願書類等の提出

ア 出願書類等の提出は郵送に限ります。

出願書類等はインターネット出願登録後にカラー印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒の表面に貼り付け，一括して封入し，**簡易書留速達で郵送**してください。

イ 出願書類等は**出願期間内に到着するよう注意**してください。

ウ 提出先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課

### (2) 出願にあたっての留意事項

ア 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては，入学後でも入学を取り消すことがあります。

イ 出願書類のうち、一つでも不備がある場合は願書を受理しませんので、郵送する前に、すべての書類等がそろっているか必ず確認してください。

ウ 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。

また、払い込まれた検定料は次項の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ④ 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格であることが判明した場合(返還額：13,000円)

\* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次頁の(ア)、(イ)の書類を郵送してください。  
(令和6年2月22日(木)まで)

(ア) **入学検定料の支払いを証明する書類(領収書等)**

(イ) **「入学検定料返還請求書」(便せん等に次の1~7を明記してください。)**

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分(学校推薦型)
- 3 氏名(フリガナ)
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額(17,000円又は13,000円)  
※成績の開示請求(P22参照)をした場合は(17,600円又は13,600円)
- 7 返還金振込先
  - 1)金融機関名(可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関)
  - 2)支店名
  - 3)預金種別(当座・普通)
  - 4)口座番号
  - 5)口座名義人(フリガナ)
  - 6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

郵送先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は、令和6年3月末(請求時期により異なります)までを予定しております。

### 【インターネットを利用した出願の手順】

①入試制度の確認	本学 Web サイトから「募集要項」をダウンロードし、出願資格・入学者選抜方法・出願期間等を確認する。
②出願情報の登録 (注 1)	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力する。
③出願情報の確認	登録した情報を確認する(確認用の用紙を印刷する等)。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択する。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・金融機関 ATM (ペイジー) ・ネットバンキング・PayPay (ペイペイ)
⑤検定料の支払い	選択した方法に従って検定料を支払う。
⑥証明写真の アップロード	⑤検定料の支払い後に送信される入金確認メールに記載される URL から、インターネット出願登録システムへ再度ログインし、志願者本人の写真をアップロードする。
⑦出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷する。
⑧出願書類の郵送 (注 2)	⑦の出願登録内容の印刷物等を、8 ページ「7. 出願書類等」のとおり愛知教育大学入試課へ郵送し、出願が完了。

(注 1) インターネット出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 受験者本人の顔写真データ：正面、上半身、無帽のもので出願前 3 か月以内に撮影した写真の画像データを準備してください。

イ 電子メールアドレス：電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。

ウ プリンタ、印刷用紙：A 4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ(カラー印刷)が必要です。

エ 試験成績開示請求について、希望しない場合は、「希望する」から「希望しない」に選択を変更してください。

(注 2) インターネットを利用した出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に、出願確認票等を郵送・提出することで手続は完了します。

(注 3) インターネットを利用した出願情報の登録のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

#### ① パソコン推奨環境 ブラウザバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome

#### PDF 閲覧ソフトバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC ※Windows 8.1, Windows 10 の「リーダー」は推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。	Adobe Acrobat Reader DC ※macOS のプレビューは推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。

② モバイル端末推奨環境

※下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。その場合はパソコンをご使用ください。

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

## 9. 受験票及び受験案内のダウンロード，印刷

受験票及び受験案内は，令和5年11月27日（月）頃からダウンロード及び印刷が可能となります。インターネット出願登録サイトの申込確認から受験票をダウンロード及びカラー印刷し，試験当日に持参してください。

また，**受験上の注意事項（集合時間や場所等）に関する「受験案内」**を受験票に記載の URL から必ず確認してください。

## 10. 入学者選抜方法

- (1) 選抜は，大学入学共通テスト，出願書類（調査書・学びの履歴・推薦書及び志望理由書），AP 試験を総合して行います。
- (2) 最低基準点は，AP 試験の配点の2分の1以上，かつ総点が60%以上とします。調査書及び大学入学共通テストの最低基準点は特に定めません。
- (3) (2)で不合格となった者を除き，専攻・専修・コース毎に総点の高得点順位の者から合格者とします。
- (4) 合計した点数が著しく低い場合は，合格者数が募集人員を下回ることもあります。
- (5) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等については13～15ページの**別表1**に記載のとおりです。  
なお，志願する専攻・専修・コースによって受験する科目が異なるので十分注意してください。
- (6) 試験日程は次のとおりとし，「**AP 試験**」を行います。

試験 期 日	令和5年12月2日（土）
開 始 時 刻	9時00分～
試 験 場	愛知教育大学

受験者は，インターネット出願サイトからカラー印刷した受験票を持参してください。

(7) AP 試験の方法

16～18ページの**別表2**に記載のとおりです。

# 別表1

## 【大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等及び配点】

課程・専攻・ 専修・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テストの配点							個別学力検査等の配点			配点合計	
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	AP試験	学びの履歴 及び調査書	計		
学校 教員 養成 課程	幼児教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	学校教育科学専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	生活・総合専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	ICT活用支援専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
	日本語支援専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	国語専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	社会専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500
	算数・数学専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500
	理科専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500
	音楽専修	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A（必修） 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓	200	*100	*100	200	100	200	300※注	100	100	200	500

課程・専攻・ 専修・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テストの配点							個別学力検査等の配点			配点合計		
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	AP試験	学びの履歴 及び調査書	計			
義務教育専攻 学校教員養成課程	図画工作・ 美術専修	国語	国	200	*100	*100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科6科目]													
義務教育専攻 学校教員養成課程	保健体育専修	国語	国	200	*100	*100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科6科目]													
義務教育専攻 学校教員養成課程	ものづくり・ 技術専修	国語	国	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から2
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から2
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
義務教育専攻 学校教員養成課程	家庭専修	国語	国	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												2教科
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												3科目
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
義務教育専攻 学校教員養成課程	英語専修	国語	国	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
高等学校教育専攻 高等学校教員養成課程	国語・書道専修	国語	国	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
高等学校教育専攻 高等学校教員養成課程	地歴・公民専修	国語	国	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
高等学校教育専攻 高等学校教員養成課程	数学専修	国語	国	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から2
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から2
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
高等学校教育専攻 高等学校教員養成課程	理科専修	国語	国	200	*100	*100	200	200	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から2
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から2
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													
高等学校教育専攻 高等学校教員養成課程	英語専修	国語	国	200	100	100	200	100	200	300※注	100	100	200	500	
		地歴	世B, 日B, 地理B												から1
		公民	現社, 倫理, 政経, 倫理・政経												から1
		理科	[欄外<理科の選択方法について>参照]												から1
		数学	数Ⅰ・数A(必修)												から1
外国語	数Ⅱ・数B, 簿記, 情報	から1													
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1												
		[5教科7科目]													



課程・専攻・ 専修・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テストの配点							個別学力検査等の配点			配点合計
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	AP試験	学びの履歴 及び選考書	計	
学校 教員 養成 課程 特別支援教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓 2教科 から 3科目 から1 から1 〔5教科7科目〕	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
養護教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓 2教科 から 3科目 から1 から1 〔5教科7科目〕	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500
教育支援 専門職 養成 課程 心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国 世B、日B、地理B 現社、倫理、政経、倫理・政経 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 数Ⅰ・数A(必修) 数Ⅱ・数B、簿記、情報 英、独、仏、中、韓 2教科 から 3科目 から1 から1 〔5教科7科目〕	200	*300	*300	200	*300	200	300※注	100	100	200	500

### 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

地歴及び公民については、合わせて1教科とします。理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は2つで1科目とします。  
 地歴及び公民の科目において2科目を受験した場合の取扱については、地歴及び公民の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績をいいます。  
 理科の科目において基礎を付していない2科目を受験した場合の取扱については、理科の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績をいいます。  
 本学では、地歴について「世界史B、日本史B又は地理B」の点数を選抜に用いますのでご注意ください（世界史A、日本史A又は地理Aを受験した場合は、地歴の成績として選抜に用いませ  
 ん）。  
 また、公民について、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「倫理」と「倫理・政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理・政  
 治・経済」の組合せをいいます。  
 簿記・会計、情報関係基礎を選択することができる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込  
 み）者に限ります。  
 外国語の「英語」に「リスニング」を含みます。（リスニング免除者は除く。）  
 大学入学共通テストの外国語の科目英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点）、リスニング（40点満点）に換算して200点満点  
 とします。

### <理科の選択方法について>

科目	専攻、専修、コース	理科の科目の選択方法
「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	算数・数学専修、数学専修 理科専修（義務教育）、理科専修（高等学校教育） ものづくり・技術専修	理科の科目欄の8つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。
	日本語支援専修 国語専修、国語・書道専修 社会専修、地歴・公民専修 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修 英語専修（義務教育）、英語専修（高等学校教育）	理科の科目欄の8つから基礎を付した2つ又は基礎を付していない1つを選択する。
	幼児教育専攻 学校教育科学専修 生活・総合専修 ICT活用支援専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻 教育支援専門職養成課程 （心理コース、福祉コース、教育ガバナンスコース）	理科の科目欄の8つから ①「地歴・公民」1科目選択の場合は、基礎を付していない4つのうち2つを選択する。 ②「地歴・公民」2科目選択の場合は、基礎を付した2つ又は基礎を付していない1つ を選択する。

※1 共通テスト利用教科・科目のうち「地歴・公民」、「理科」の2教科からの選択利用となっている専攻、専修、コースは、「地歴・公民」から1科目選択の場合と「地歴・公民」から  
 2科目選択の場合の選択方法に区分した。

※2 指定した教科・科目数を超過して受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科②」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

①「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績をいいます。

このため、「第1解答科目」が指定した科目でない場合は、出願することができません。（検定料返金）

②「理科」から1科目選択となっている場合は、

・「理科②」2科目を受験している場合は、「第1解答科目」の成績をいいます。

・「理科①」2科目、「理科②」1科目を受験している場合は、「理科①」及び「理科②」のうち、いずれか高得点の成績をいいます。

③「地歴・公民」、「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、

・「地歴・公民」2科目、「理科①」2科目を受験している場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績をいいます。

・「地歴・公民」2科目、「理科①」2科目、「理科②」1科目を受験している場合は、「地歴・公民」2科目の成績と、「理科①」「理科②」のうち、いずれか高得点の成績をいいます。

### 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

※注：大学入学共通テストの配点を掛率により、300点に調整します。

別表2  
A P 試験の方法

専攻・専修・コース		A P 試 験	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、幼稚園教諭や保育士への意欲・適性などを総合的に判断します。	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	複数の教員による集団討論・集団面接を行います。教育の基本的事項に関する理解力、多様なものの見方、コミュニケーション能力、積極的に挑戦する態度をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
		生 活 ・ 総 合 専 修	自己アピールプレゼンテーション（5分）を行った後、複数の教員による面接（5分）を行い、プレゼンテーションの内容や生活科・総合的学習に関する理解、思考力や表現力、教職への意欲・適性などから総合的に判断します。 【自己アピールプレゼンテーションについて】 ○自己アピールできるテーマ（高校時代に取り組んだ学び・活動、ボランティア活動や将来のキャリアデザイン等）を受験者が自由に設定し発表する。 ○発表方法：パソコンによるパワーポイント、模造紙等の紙媒体にまとめたもの、ポートフォリオや成果物等を用いてもよい。特技などを実演することも可。 ○プレゼンテーションで使用する資料等は、当日持参すること。また、パワーポイントを使用する場合はU S Bメモリにてデータを持参すること。自身のパソコンを持ち込むことも可。
		I C T 活 用 支 援 専 修	複数の教員による個別面接を行います。理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、教員への志望の意欲・適性、ICTやICTを活用した教育への興味・関心などを総合的に判断します。出願者数が多く、個別面接が現実的でない場合は、集団面接に変更することがあります。
		日 本 語 支 援 専 修	複数の教員による個別面接により、日本語教育に関する興味・関心をみるとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
		教 科 指 導 系	国 語 専 修
	社 会 専 修		複数の教員による集団面接を行います。社会科に関する興味・関心、物事を客観的に読み解く力、知識と知識を結びつける力、自分の言葉で表現する力をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	算数・数学専修	複数の教員による集団面接を行います。数学内容に関する質問を通して、理解力・思考力・説明する力をみるとともに、受け答えを通じて小・中学校の教員への意欲・適性を総合的に判断します。
			理科専修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、小・中学校の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			音楽専修	実技と複数の教員による面接を行います。 実技では、「ピアノの任意の一曲と、声楽または任意の楽器による任意の一曲」の演奏を課し、基礎的な音楽技能をみます。 面接では、個々の理解力、判断力、自己の意見や考えを表現するコミュニケーション能力をみるとともに、将来教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志や教員としての適性などを総合的に判断します。
			図画工作・美術専修	実技と複数の教員による面接を行います。実技では、鉛筆デッサンで「与えられたモチーフを持つ手」をケント紙に描きます。面接では、個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、図画工作を得意とする教員、もしくは美術の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			保健体育専修	複数の教員による集団面接を行います。コミュニケーション能力等をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			ものづくり・技術専修	複数の教員による個別面接を行います。将来、教職に就く強い意欲と、科学技術に興味・関心があるとともに、様々な課題解決のために創意・工夫する豊かな感性等を総合的に判断します。
			家庭専修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。生活の諸問題に対する興味・関心を見るとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英語専修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国語・書道専修	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、国語科の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			地歴・公民専修	複数の教員による集団面接を行います。地歴・公民科の内容に関する興味関心、専門的知識を深く学ぼうとする姿勢、物事を客観的に読み解く力、知識と知識を結びつける力、自分の言葉で表現する力、そして教職への意欲や適性を総合的に判断します。
			数学専修	複数の教員による集団面接を行います。数学内容に関する質問を通して、理解度・思考力・説明する力および数理科学に対する興味関心を計るとともに、受け答えを通じて高等学校教員への意欲・適性を総合的に判断します。

学校教員養成課程	高等学校教育専攻	教科学習開発系	理科専修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，高等学校教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英語専修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに，教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
	特別支援教育専攻		複数の教員による個別面接を行います。特別支援教育に関する諸課題への問題意識と，思考力・判断力・コミュニケーション能力・自己表現力等をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
	養護教育専攻		複数の教員による集団面接を行います。健康に関する領域の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，養護教諭への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
教育支援専門職養成課程	心理コース		教育・心理に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。	
	福祉コース		教育・福祉に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。	
	教育ガバナンスコース		教育・社会・情報・文化に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。	

※受験者数によっては，面接方法を変更することがあります。

## 11. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。この事前相談により、合否判定の際に不利になることはありません。

(1) 相談締切日 令和5年9月29日(金)

(2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

(本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。)

(3) 提出書類

ア 入学試験受験上の配慮申請書(本学指定様式)

イ 医師の診断書(コピー可)

(4) 問い合わせ先

愛知教育大学 入試課 (TEL 0566-26-2202)

## 12. 免許教科の決定について

・免許教科について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1科目の中学校教員免許状(二種もしくは一種)を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い専攻学生とともに学ぶことになることから、入学手続時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学ホームページにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので、併せて確認してください。

愛知教育大学ホームページ HOME > 学部・大学院

<https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/index.html>

このページの「免許教科」のリンクをクリックしてください。

免許教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

### 13. 合格者発表

- (1) 令和6年2月9日(金)  
学校長あてに郵便により通知します。  
また、合格者の受験番号を当日15:00以降、本学Webサイトに掲載します。  
(本学Webサイト：<https://www.aichi-edu.ac.jp/>)  
※入学手続完了日までの期間が短いため、当日のWebサイト掲載を確認してください。
- (2) 合格者に対しては、合格通知書及び入学手続関係書類を郵便により速達で送付します。  
合格者で、2月13日(火)までに関係書類が到達しない場合は、必ず電話で問い合わせてください。  
愛知教育大学入試課 (TEL 0566-26-2202)
- (3) 電話その他による合否の照会には一切応じません。

### 14. 入学手続

入学手続は下記の日時・場所で行いますが、郵送する場合は、令和6年2月16日(金)16時まで「書留郵便」で学生支援課に必着するよう送付してください。入学手続の詳細は、合格者に郵送する「入学手続要項」をご覧ください。

#### (1) 日時・場所

日	時	場 所
令和6年2月15日(木)	9:00 ~ 12:00	愛知教育大学
令和6年2月16日(金)	13:00 ~ 16:00	

#### ○入学手続時に持参するもの

①大学入学共通テスト受験票
②入学手続関係書類 * <sup>1</sup>
③写真(4cm×3cm)1枚(学生カード用)
④最終出身学校卒業証明書 * <sup>2</sup>

※合格発表から入学手続までの期間が短いので、写真等入学手続に必要な書類の準備に留意してください。

\*<sup>1</sup> 合格通知書と併せて郵送します。

\*<sup>2</sup> 令和6年3月卒業見込の方で、入学手続時に持参できない方は、令和6年3月22日(金)までに本学入試課へ提出してください(郵送可)。

#### (2) 入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用 * <sup>3</sup>	54,660 円
前期分授業料	267,900 円
後期分授業料	267,900 円

入学料及び入学時諸費用については、入学時までに必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者のみに郵送する「入学手続要項」**において指示します（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します）。

\*<sup>3</sup> 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

また、本学では、すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。）

#### ○ 納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方に郵送する「入学手続関係書類」に同封の払込書（大学指定のもの）にて、入学時までに最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口\*<sup>4</sup>にて納入してください。

\*<sup>4</sup> ATMは使用しないでください。

#### (3) 留意事項

ア **学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。**

**また、学校推薦型選抜の合格者が、令和6年2月16日（金）までに「推薦入学辞退願」（任意様式）を提出せず、入学手続を完了しないときは、合格を取り消されるとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。**

ただし、「17. 入学辞退手続」により本学学長の許可を得た場合は、この限りではありません。

イ 入学手続完了者で高等学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。

ウ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。

エ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものとなりますので、直ちに入学料を納入していただきます。

オ 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/index.html>

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課	TEL 0566-26-2173
-----------------	-------	------------------

## 15. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に郵送する入学手続要項に同封の申請書類又は大学 Web サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>) の入寮申請案内からダウンロードした申請書類により申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、大学 Web サイトを参照してください。

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当	TEL 0566-26-2186
----------------	-------------	------------------

## 16. 入学辞退手続

学校推薦型選抜の合格者が、やむを得ず本学に入學することができなくなった場合は、学校長は、理由を付した「推薦入學辞退願」（任意様式）を、令和6年2月16日（金）までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。この許可を受けない場合には、学校推薦型選抜の合格を取り消すとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入學許可は得られません。

## 17. 不合格者の再出願

- (1) 不合格となった者は本学の一般選抜を受験することができます。この場合、別途、出願手続及び入學検定料の納入が必要です。
- (2) 本学の一般選抜を受験する者の出願手続等は次のとおりです。
  - 1) 合格者の発表が一般選抜の出願期間後となるため、あらかじめ出願手続を完了しておいてください。
  - 2) 一般の入學志願者と同様に、「令和6年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項」（令和5年10月中旬頃発表予定）により出願手続をしてください。

## 18. 入學試験個人成績の開示

本学では、学校推薦型選抜の個人成績（総合点）を本人に限って開示します。出願時に成績開示を希望した者は、本学 Web サイトの「成績開示システム」から令和6年度入試の個人成績が閲覧できます。

### (1) 請求方法

- ① インターネット出願登録サイトで出願登録をする際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。開示を希望しない場合は「希望しない」に選択を変更してください。
- ② 「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料600円が別途必要です。検定料と併せてお支払いください。なお、郵送及び出願後の請求は原則受け付けません。

### (2) 開示の時期

令和6年5月1日から6月30日まで、本学 Web サイトの「成績開示システム」から、閲覧が可能となります。詳細は、令和6年4月下旬、本学 Web サイトでお知らせします。

※1 閲覧には「受験番号」及びインターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」が必要です。開示時期まで、忘れずに控えておいてください。

※2 開示期間が終了すると閲覧できなくなりますので、必要であれば、適宜成績開示画面を印刷してください。

### 【個人情報の取り扱いについて】

本学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学者選抜に関する業務及びこれらに付随する業務に利用し、入學手続完了者にとっては、学籍データとして、修学指導業務等に利用します。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しません。

また、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入學共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入學手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達することがあります。

## 19. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/aeukitei/index.html> より

第10章 研究連携・研究支援 > 国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

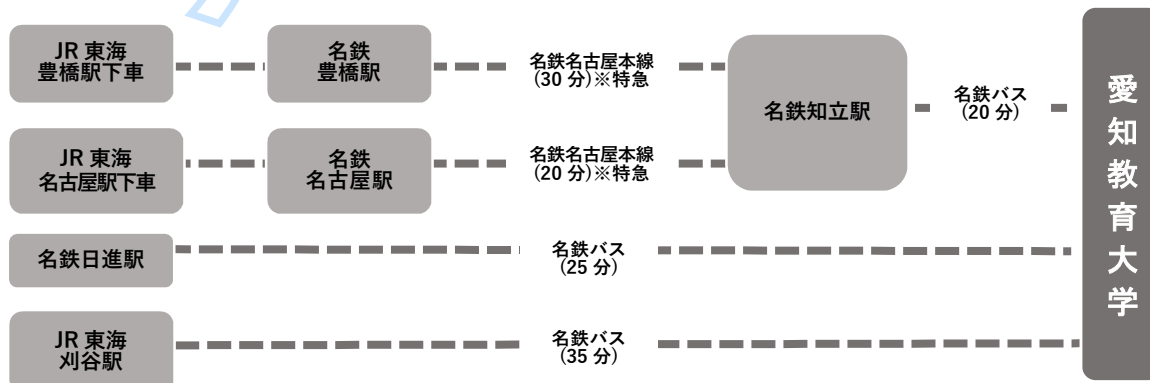


# ◆ 愛知教育大学へのアクセス（案内図）

## MAP



## ACCESS



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関のホームページ等でご確認ください。

## 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、こちらをご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202

FAX 0566-26-2200

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

## 【以下参考】

愛知教育大学

学校推薦型選抜 出願書類等 様式サンプル（注）

（注）本資料はあくまでもサンプルであって実際の出願時には、本学 Web ページから様式をダウンロードし、作成並びに出願時に提出してください。

1. 推薦書
2. 志望理由書
3. 学びの履歴
4. 音楽実技内容届（音楽専修 出願者用）



# 推薦書

愛知教育大学長 殿

学校所在地

学校名

学校長名

印

以下の者を、貴学のアドミッション・ポリシーに沿った人物として、学校推薦型選抜に責任を持って推薦します。

## 1. 被推薦者

志願者	フリガナ		
	氏名		
志願先		専攻	専修 コース

## 2. 学習歴・活動歴を踏まえ、推薦理由及び評価について、該当する箇所に○をつけてください。

- |                       |     |    |       |          |
|-----------------------|-----|----|-------|----------|
| ・教員又は教育支援専門職に就こうとする意欲 | 欠ける | ある | とてもある |          |
| ・教員又は教育支援専門職に対する適性    | 欠ける | ある | とてもある |          |
| ・知識・技能                | 劣る  | 普通 | 優れている | とても優れている |
| ・思考力・判断力・表現力          | 劣る  | 普通 | 優れている | とても優れている |
| ・主体性                  | 劣る  | 普通 | 優れている | とても優れている |
| ・多様な人々と協働して学ぶ姿勢       | 劣る  | 普通 | 優れている | とても優れている |

上記項目の中で、特記すべき事項があれば、記載してください。

---

---

## 3. 指導において特に配慮が必要な事項があれば、記載してください。

---

---

受験番号

※

※印は記入しないでください。

志望理由書

フリガナ		志望する 課程・専攻・ 専修・コース	
氏名			

あなたが本学へ入学を希望する理由について、自筆で黒のペン又は黒のボールペンを使用して600字程度で書いてください。自筆での記入が困難な場合はお問い合わせください。

10 20

200

400

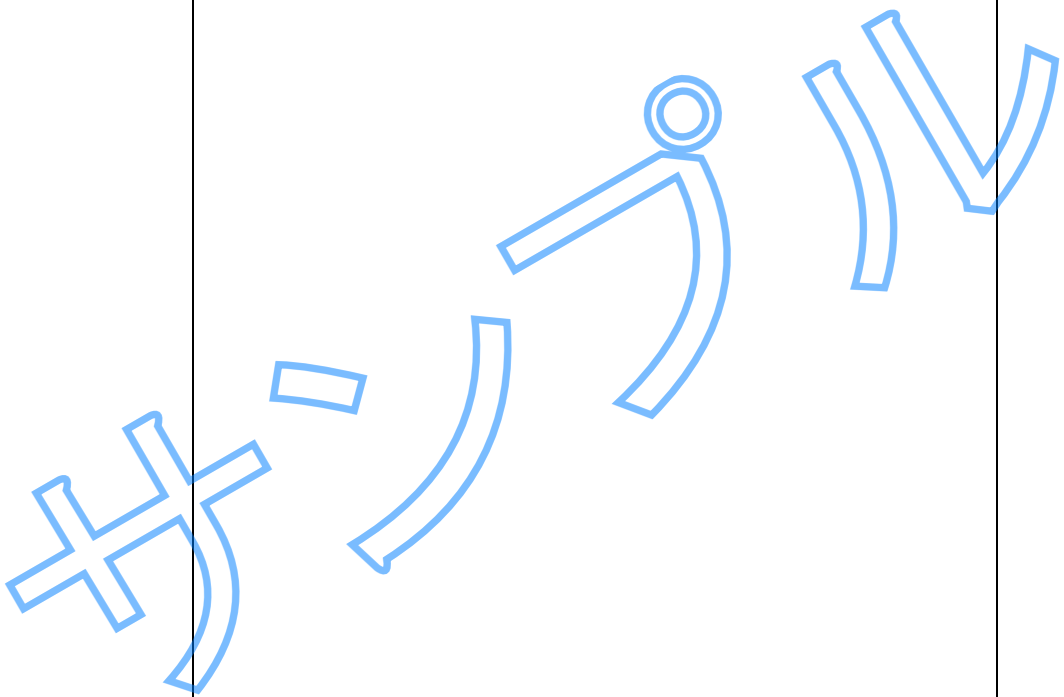
600

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないでください。



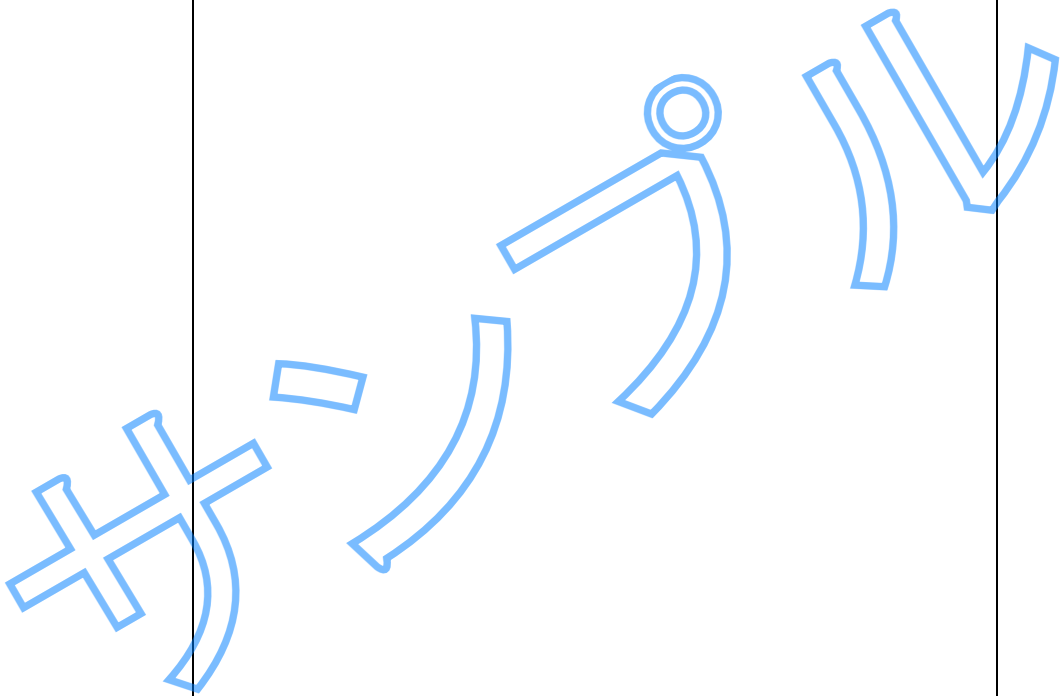
② 高等学校時に経験した教育に関わる活動（子どもとの交流経験，教育現場訪問，本学教育学部や他大学教育学部におけるイベントへの参加，高等学校における教育コース等での経験等）について記入してください（用紙は追加できません）。その際，教育に関わる活動のレポート・報告書等，活動から得た学びの成果を添付してください。

活動時期	活動の内容	資料番号
		

氏名	
----	--



③ 高等学校時に主体性・協働性をもって取り組んだ自身の活動（②で記載したもの以外の活動）、例えば志望する課程、専攻、専修、コースに関わる「学び」等（教科での学習、総合的な学習の時間、探究活動、課外活動、学校行事）の活動や生徒会・部活動等の活動、文化的・芸術的活動、作品の出品・成績（順位・受賞等）、スポーツ大会・競技会への参加・成績（順位・受賞等）、社会奉仕等の社会活動・ボランティア活動、留学・海外経験等を記入してください（用紙は追加できません）。その際、自身の活動のレポート・報告書等、活動から得た学びの成果を添付してください。

活動時期	活動の内容	資料番号
		

氏名	
----	--

#### 【記入方法について】

- 1) 「時期」「活動時期」欄には、各活動を行った時期や資格・検定等を取得・受検した時期を西暦で〇年〇月あるいは〇年〇月～〇年〇月といった形式で記入してください。
- 2) 「資格・検定」欄には、資格・検定の種別と成績を記入してください。
- 3) 「活動の内容」欄には、活動の名称とその内容の簡単な説明を書いてください。共同での活動については、あなたの役割や貢献部分を明示して説明してください。
- 4) 「資料番号」欄には、「資格・検定等」「活動の内容」欄に対応する資料（例えば、活動内容の成果を示す資料等や資格・検定成績等の証明書等々）の番号を記入してください。それら資料には、必ず氏名と資料番号を記載し、番号順に A4 判のファイル一冊に綴じて提出してください。資料は返却しませんので、以下の点に注意して現物ではなく、必ずコピーを提出してください。
  - ・ 資格認定証、賞状、成績等の証明書、ノート等を資料とする場合は、現物ではなく、必ずコピーを提出してください。
  - ・ 新聞記事、本、雑誌等を資料とする場合は、自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。その際、掲載箇所の出典（書名、発行年月日、発行所等）がわかる部分（表紙、目次、奥付等）のコピーも合わせて提出してください。
  - ・ 共同での活動の成果等を資料として提出する場合は、あなたの担当箇所、役割、分担等がわかるように説明を資料内に記載するか、別紙に記入して添付してください。
  - ・ A4 判に収まらない作品やプレゼンテーション等の資料は、作品の写真や動画（10 分以内）等にして説明を付して提出してください。写真の場合は、A4 判の白紙に貼り付け、余白に氏名と資料番号を記入してください。動画の場合は、1 枚の DVD にまとめ、DVD に氏名と資料番号を記入してください。
  - ・ 資料に外国語がある場合は和訳を添付してください。

#### 【AP 試験<sup>注</sup>での注意】

AP 試験では、提出された資料に基づいて質問する場合があります。そのため、必ず資料のコピーは手元に残し、AP 試験を受ける当日に持参してください。

注) AP 試験は「アドミッション・ポリシーに基づく試験」のことで、本学が望む学生像に必要な学力を面接の中で測るものです（討論、実技、筆記等を含むことがあります）。

令和6年度愛知教育大学

音楽専修志願者  
音楽実技内容届

氏名		※受験番号	
----	--	-------	--

※印欄は記入しないでください。

A, Bの別	選択した楽器名 または声楽	曲名	作曲者名
A	ピアノ		
B			

- 注) 1. Aについてはピアノの任意の一曲, Bについては声楽または任意の楽器を記入し, 曲名等の必要事項を右欄に記入してください。
2. 声楽を選択した場合は, 出願書類提出時に伴奏譜を提出してください。  
Bの楽器はピアノ以外とし, 持参のこと。ただし, 伴奏は無しとします。